

境港の小中学生が地元の高校で学び、楽しみ、学力を高め、地元を見直す活動

鳥取県境港市

活動名

境港地区小学生対象スクールプロジェクト・中高連携学力向上プロジェクト

関係する学校

境高等学校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
土曜日の教育活動	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	0人	77人	18年度	無	有	無	無	
学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア参加数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携	
放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	実施場所				開始年度	放課後児童クラブとの連携		
コミュニティスクール	指定日			委員数	児童生徒数	学級数		

活動の概要・経緯

鳥取県立境高等学校で平成18年度から始まったスクールプロジェクトは、地元の小学校2校の児童を対象とした高校生による学習の支援及びスポーツなどの指導を通じた交流である。毎年プログラムを検討し充実を図りながら継続している。また、平成26年度には、中学1年生土曜日学習会、中学3年生夏季学習会を開始した。これらを「中高連携学力向上プロジェクト」と称する。境港地区の中学・高校の教員が授業研究会等を通してつながり、学習課題を共有するなど連携して中学生の学習指導に当たるとともに、中学生の潜在能力と中学・高校の教員の指導力を高め、中学生ひいては高校生の学習意欲の喚起と学力向上を図っている。

特徴

【特徴的な活動内容】

- ・スクールプロジェクトは、高校生を中心に大学生もボランティアで参加し、小学生に対して学習の支援及びスポーツ・創作活動・外国語・集団遊びなどの指導を年間を通じて9回開催している活動である。
- ・学力向上プロジェクトの中学1年生学習会では、中学校教員の連携のもと授業進度に合わせた英語・数学の課題の作成と解説をする学習支援を行っている。また、自学自習を集団で行うことも重視し、学習習慣定着もねらう。中学3年生学習会は過去の鳥取県高校入試問題を高校教員が解説・指導する。高校入試を半年後に控えた時期の開催は、あこがれの地元に対する高校への理解につながっている。

【実施に当たっての工夫】

- ・境港市のほぼ中央に位置する県立高校を主会場とし、小中学生が参加しやすい環境を整えている。
- ・内容は、高校生が小学生に指導でき、かつ関心を引くプログラムで構成している。学習活動は教授型の学習会にとどまることなく、自学自習の時間や自力で問題を解く時間、質問の時間などを十分に保障し、参加する小中学生の主体性を育成するように工夫している。
- ・小中学校と高校で連絡を密にし、共通した教育課題（学力向上、学習意欲向上、家庭学習時間確保）の解決促進に向けた取組となるように工夫している。

事業を実施して

- ・境港地域内での小学校・中学校・高校間の連携によって、課題の共有とその解決に向けた取組を効果的に進めることができた。
- ・高校は中学校段階での子供たちの学習面のつまづきを早期に把握することができ、迅速な対応につながっている。
- ・小中学生の学力向上とともに興味・関心が広がり、教える高校生も自身の新たな資質を見だし自己肯定感を高め、新たな姿勢で高校生活に取り組むなど、双方にとって効果が大きい。
- ・継続してきたことで、域外の大学に進学しながらも地元を大切に思い、卒業後は地元に戻り、地元に貢献したいという思いをもつ人間育成につながった。

その他

- ・近隣の島根大学にも協力を依頼し、境高校出身の島根大学生たちが学生ボランティアとしてプロジェクトに参加している。大学生が、小中学生に学習指導等を重ねる中で、故郷で教員になることを目指し鳥取県教員採用試験を受験した学生も多数あり、地元貢献したいという意欲も向上している。



スクールプロジェクト「早く走れるようになるう」



「開講式」